



白梅通信

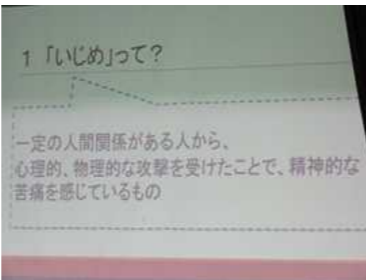
6月号 H28.6.24 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目4番26号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.freimeitai-h.myswan.ne.jp>

講話：全校生徒で「いじめ」を考える

去る5月27日(金)黎明中学・高校の全校生徒を対象に、弁護士の内藤梓先生をお呼びして「かんがえてみよう(いじめの授業)」が開催されました。

弁護士の立場としてこれまで関わった事例を元に、相手の立場になって考えてみることの大切さを語ってくださいました。また、コップを例にして、一人ひとりが心の中に持っているコップの大きさが違うことや、たまっていく水の量も違っている、辛いこと、嫌なことがあるとたまっていく水をどうすればいいのかという具体的なアドバイスをしてくださいました。一人ひとりが安心して生活していけるように周囲に対する配慮の大切さや、ひとりで我慢しないことなどが考えさせられる講話でした。



SS総合Ⅰ 1年生フロローグ講演会開催



5月31日(火)東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔先生をお迎えして、1年生を対象にした「SS総合Ⅰフロローグ講演会」が開催されました。

「SS総合Ⅰ」とは1学年が総合的な学習の時間を通じて「災害地域科学」という学習テーマのもと、一人ひとりが課題設定を行い、課題研究を進めていくもの。今回の講演テーマは「災害科学とは何かーよりよい課題研究に向けてー」。七ヶ浜町や名取市の復興活動の具体的な取り組みを紹介しながら、「何のための研究か?」「社会に役立つ研究か?」「『先輩の反省』を繰り返さない」というポイントに絞ったお話をさせていただきました。

大学・専門学校・就職進路ガイダンス



5月19日(木)午後、3年生を対象に進路別ガイダンスが行われました。まず、最初に、「ラジオキャンパス」でおなじみのキャンパスネットワークオフィスの納谷正基氏による「学校選択について」の講話の後、大学、専門学校関係者約30名をお迎えして進路別ガイダンスが行われました。生徒はそれぞれ20分ずつ3回に渡って知りたい大学・専門学校を巡り、自分の進路に合う学校探しに向かって熱心に聞き入っていました。

SSH科学講演会「ニュートリノと宇宙」

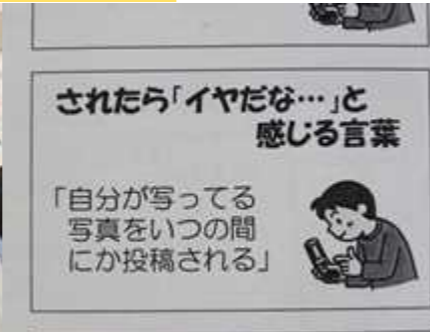


去る5月19日(木)14:05~15:34、本校アリーナを会場にして、中・高の全校生徒を対象に、東北大学理学研究科教授(ニュートリノ科学研究センター長)井上邦雄先生による「ニュートリノと宇宙」についての講演が行われました。

ニュートリノとは何か。昨年ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生の研究を例に挙げ、井上先生が今取り組んでいる研究を紹介されながら、宇宙の不思議や宇宙の成り立ち、物質の元となる素粒子がニュートリノだということをお話され、ニュートリノを研究することが宇宙の謎を解く鍵となるということをお話してくださいました。また、東北大学理学研究科がいかにか節約した研究機材で効果を挙げているかなど、他の研究機関との比較や今後取り組む研究についての抱負をお話してくださいました。

質疑応答では、「反物質」の説明に関連して、「無い物が無いとなぜ証明できるのか?」といった高度な質問がなされたりと、生徒たちの興味を大いに駆り立てたようでした。

ソーシャルメディアポリシーを考える ~ SNSの使い方~



6月10日(金)、高校全クラスにおいて、LHRの時間を利用してソーシャルメディアポリシーの授業が行われました。これは、スマートフォンの急速な普及によって生じる生徒の心身や学力への悪影響、不適切な利用による犯罪被害、いじめ、金銭トラブルなどの諸問題を未然に防ごうというもの。クラスによってはカードを用いてグループワークをしたり、ワークシートを使ってブレインライティングをしたりと、生徒自らが話し合い、利用規範を改めて考え直しました。

【写真選手権東北大会進出】



【風従虎 ~風ハ虎ニ従フ~】

第23回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2016」において、本校高等学校写真部の3年滝野澤彩佳・岩切陽香・佐藤有紗さんの作品が初戦を突破し、東北ブロック公開審査会進出校に決定いたしました。

作品のタイトルは「風従虎 ~風ハ虎ニ従フ~」で、中新田の無形文化財である火伏の虎舞いを練習から本番まで撮影したものです。写真甲子園とは、3人でチームを作り8枚の組写真を用いて自由なテーマで表現を行い、全国で勝ち抜いた計18校が北海道を舞台に行われる本戦で一週間撮影を競い合う大会です。今年

年は過去最多の527校が初戦に応募し、東北地区では本校を含めた10校が東北ブロック公開審査会に進出しました。

6月18日に仙台国際センターで開催された公開審査会では、選ばれた10校が各自の作品のプレゼンテーションを行い、東北地区の本戦出場枠の2校の枠を争いましたが、残念ながら本校は出場権を逃しました。